北海道林業・木材産業　新型コロナウイルス対策に関する連絡会議　次第

令和2年8月４日

【議案】

１　現在の影響及び今後の見通しについて

２　道の対応状況及び今後の方向性について

第３回 北海道林業・木材産業　新型コロナウイルス対策に関する連絡会議　出席者名簿

所属	職氏名	備考
北海道森林組合連合会	代表理事会長　阿部徹　様 （代理出席　営業部長　福田靖大　様）	道庁会場
北海道素材生産業協同組合連合会	代表理事会長　髙篠和憲　様	
北海道木材産業協同組合連合会	副会長　内田敏博　様	
北海道カラマツ製材業協議会	会長　松永秀司　様	
トドマツ人工林材協議会	会長　吉井忠　様 （代理出席　吉田良弘　様）	
物林（株）営業本部北海道グループ	グループ長　中根幹成　様	
住友林業フォレストサービス（株） 東日本事業部 北海道営業所	北海道営業所長　長尾知昌　様	
王子木材緑化（株）北海道支店	参与　三浦努　様	
日本製紙木材（株）北海道支店	支店長　中村善富　様	
北海道森林管理局	総務企画部　企画課長　門脇大輔　様	道庁会場
北海道水産林務部	林務局長　岡嶋秀典	道庁会場
〃	林業木材課長　加納剛	道庁会場
〃	林業木材課木材産業担当課長　宮谷勇	道庁会場
〃	林業木材課林業振興担当課長　山崎康裕	道庁会場
〃	森林整備課長　土屋禎治	道庁会場
〃	道有林課長　庄司靖幸	道庁会場
〃	総務課　課長補佐（林務企画）　成澤直人	道庁会場

（事務局）

北海道水産林務部林業木材課	課長補佐（林業木材）　立原泰直	道庁会場
〃	主査（林業木材）　日比野寛太	道庁会場

「北海道林業・木材産業　新型コロナウイルス対策に関する連絡会議（第３回）」
開催要領

第1　日時
令和２年８月４日（火）　10:00 から1時間半程度

第２　開催方法
Cisco Webex を使用しオンラインにて開催

第３　目的
第２回連絡会議以降の情勢の変化を踏まえ、今後、必要な対策の検討を行うために開催する。

第４　構成員
構成員は別紙のとおりとする。

第５　運営
1. 林業木材課長が主宰する。
2. 林業木材課長が認めた場合は、構成員以外の者の出席を求めることができる。
3. その他、運営に関し必要な事項は林業木材課長が定める。

第６　事務局
連絡会議の事務局は、林業木材課に置く。

第７　雑則
この要領に定めるもののほか、必要な事項は林業木材課長が別に定める。

別紙

北海道林業・木材産業　新型コロナウイルス対策に関する連絡会議（第３回）
構成員

北海道森林組合連合会

北海道素材生産業協同組合連合会

北海道森づくり推進協議会

北海道木材産業協同組合連合会

北海道カラマツ製材業協議会

トドマツ人工林材協議会

物林（株）営業本部北海道グループ

住友林業フォレストサービス（株）北海道営業所

王子木材緑化（株）北海道支店

日本製紙木材（株）北海道支店

北海道森林管理局

北海道水産林務部（総務課／林業木材課／森林整備課／道有林課）

資料1

現在の影響及び今後の見通しについて

- 第2回会議までの意見
- 製材工場の原木消費量への影響（聞き取りに基づく試算）

第１回 北海道林業・木材産業新型コロナウイルス対策に関する連絡会議 概要

【開催日時】 令和２年４月22日（水）

【開催方法】 書面

【開催結果】

議案１ 「北海道林業・木材産業 新型コロナウイルス対策に関する連絡会議」の設置について

参加者11名中11名が会議への参画に同意

議案２ 現在の影響について

（主な意見）

- 原木の販売不振、原木受け入れ制限等（９名１３件）
  ⇒主にトドマツに関するもの：５名８件
  ⇒主にカラマツに関するもの：２名２件
- 建築材等の販売不振（３名４件）
- 産業用資材（梱包・パレット・サンギ等）の販売不振（７名１０件）
- 移出原木の停滞（２名３件）

議案３ 今後、予想される影響について

（主な意見）

- 林業事業体の経営の逼迫（５名９件）
- 木材加工工場の経営逼迫（３名４件）
- 木材製品の需要減退（６名１１件）
  ⇒主に建築材等に関するもの：５名８件
  ⇒主に産業用資材に関するもの：１名１件
- 原木価格の低下及び流通の変化（４名４件）

議案４ これまでに講じた、あるいは今後、講じることとしている対策について

（主な意見）

- 原料や仕向け先の転換など需要動向に合わせた生産体制等のシフト（３名６件）
- 減産等の生産調整及び雇用調整金の申請など（３名３件）
- 国等の関係機関への要望活動等（２名４件）
- 関係者の状況把握及び、その内容を踏まえた対応策の検討（２名３件）
- 原木価格の見直し（２名２件）

議案５ 今後、必要となる対応について

（主な意見）

- 国有林、道有林における搬出期限の延長や出材量の調整など（６名７件）
- 休業補償、代替事業の創出などの雇用対策（４名５件）
- 材の出材を伴わない事業の推進や原料材比率の高い山林の伐採など、需要動向に応じた森林整備事業の推進（４名５件）
- 原木・製品の保管場所拡張や在庫の掛かり増し経費などに対する支援（３名３件）
- 流通経費や原木価格維持補填、製品輸送運賃補助など流通の下支え（３名３件）
- 返済期間の猶予、融資枠の追加、相談体制の確立など金融対策の充実（２名４件）
- 各地の生産計画や需要動向、補助事業などに関する情報のとりまとめ及び発信（２名２件）

第２回 北海道林業・木材産業新型コロナウイルス対策に関する連絡会議 概要

【開催日時】 令和２年５月22日（金）
【開催方法】 オンライン会議
【出席者】 11団体・企業
【開催結果】

議案１ 第１回会議における意見について

【直近の情勢の変化】

（主な意見）

・ 一部、製材工場が金曜日の稼働を止めており、週休３日が現実味を帯びている。
・ 本州の安いスギ製品が梱包・パレットに食い込んで来ており、道内製品は価格下落のおそれ。
・ 建築材はこれまで比較的影響が小さかったが、住宅契約の減少などで減少率が拡大。
・ コロナやオリンピック延期などの影響で紙の減産に伴い、チップの集荷量が相当落ちる見込み。
・ 事業者の手持ち資金の不足が近々に想定されている。

議案２ 今後の対応の方向性について

【今後の影響に対する見通し】

（主な意見）

・ 世界的にコロナウイルスが収束しないと経済全体が回らない。下げ止まる着地点が見えない状況。
・ 収束後も経済活動が抑えられ、カラマツ需要が２割程度落ちて常態化することを危惧。
・ トドマツの売り上げが２割落ちると予想。状況によっては、もっと厳しくなる。
・ 住宅は、８月以降、さらに深刻な状況が見込まれている。
・ 今は製品が溢れているが、輸入材の動向次第では逆に足りなくなることも想定される。
・ ホームセンター向けのDIY材が足りないが、道内の工場で対応し切れていない。
・ 年度末の原木のだぶつきは10万m^3では済まないことが考えられる。
・ 今は、利益より企業の存続を優先させる必要がある。

（まとめ）

・ 製材工場等における原木消費量の減少幅の見通しを約３割として、今後の検討を行う。

【対応方向の検討】

（主な意見）

＜金融対策＞
・ 体力の無い事業者が活用できる、融通の利く資金対応が必要。
・ 林業･木材産業が中小企業経営力強化ファンド（２次補正）の対象となるような働きかけが必要。
・ 税負担が大きい木材産業に対する手当てを考えるべき。

＜雇用対策＞
・ 持続化給付金の給付額引き上げ及び要件の緩和を希望する。
・ 高性能林業機械の整備に対する助成の要件緩和など、設備投資のきっかけが必要。

＜森林整備＞
・ 道有林の立木販売における搬出期限の延長を希望する。
・ 森林整備事業は中断せず、継続することが必要。

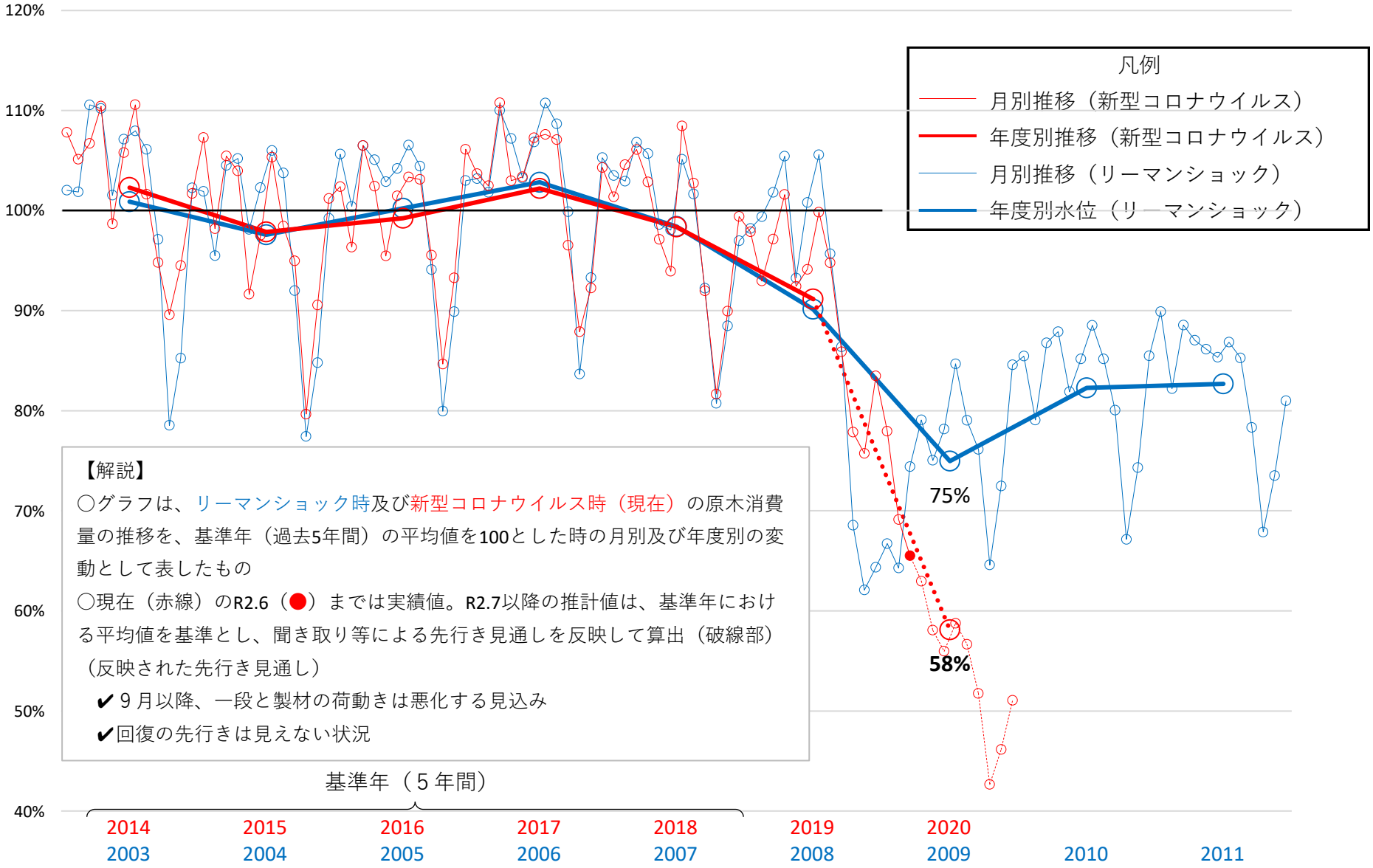
＜流通対策＞
・ 林業事業者や運送会社が事業を継続できるよう、手厚い助成が必要。
・ 木材の生産量と滞留量を予測し、比較した上で、スケール感を考慮した対応をすることが必要。

＜その他＞
・ 様々な支援策に関する十分な周知を事業者に対して行うことが必要。
・ 回復後も見据えた対策が必要

（まとめ）

・ 対応方向（案）については概ね了承。
・ 本日出た意見は整理の上、必要な対策を検討するとともに国への要望へ反映していく。

製材工場の原木消費量への影響（聞き取りに基づく試算）



【解説】

〇グラフは、リーマンショック時及び新型コロナウイルス時（現在）の原木消費量の推移を、基準年（過去5年間）の平均値を100とした時の月別及び年度別の変動として表したもの

〇現在（赤線）のR2.6（●）までは実績値。R2.7以降の推計値は、基準年における平均値を基準とし、聞き取り等による先行き見通しを反映して算出（破線部）

（反映された先行き見通し）

✔９月以降、一段と製材の荷動きは悪化する見込み

✔回復の先行きは見えない状況

令和2年6月　製材工場動態速報

【エゾマツ・トドマツ】

（単位：㎥）

	原木消費量	原木在荷量	製材生産量	製材出荷量	うち移出	製材在荷量
渡島	(113.3%) 5,196	(82.5%) 8,977	(111.4%) 2,615	(87.0%) 1,779	(93.0%) 740	(757.5%) 5,325
檜山	(79.6%) 1,179	(106.8%) 3,647	(71.2%) 507	(64.8%) 467	(71.1%) 325	(106.3%) 374
胆振	(85.3%) 7,117	(117.2%) 18,500	(89.5%) 3,885	(77.6%) 3,750	(79.0%) 1,398	(91.5%) 5,100
日高	(59.0%) 1,157	(229.6%) 10,654	(60.2%) 541	(53.8%) 510	(52.4%) 365	(200.0%) 674
後志・石狩・空知	(76.1%) 1,512	(43.2%) 2,941	(77.9%) 722	(82.8%) 748	(98.0%) 192	(84.9%) 1,159
上川・留萌・宗谷	(65.9%) 8,984	(95.0%) 37,471	(62.1%) 4,059	(44.8%) 3,069	(30.7%) 842	(161.2%) 11,827
オホーツク	(68.7%) 10,964	(123.2%) 42,945	(67.0%) 5,284	(68.5%) 5,592	(67.9%) 1,926	(127.0%) 8,823
根室	(82.4%) 346	(52.8%) 2,355	(72.3%) 167	(54.7%) 105	0	(133.2%) 1,522
釧路	(87.2%) 5,230	(152.1%) 13,950	(88.3%) 2,350	(80.0%) 2,110	0	(121.0%) 5,230
十勝	(73.0%) 5,485	(109.7%) 29,007	(74.8%) 2,521	(71.6%) 2,427	(86.2%) 1,494	(141.5%) 5,636
合計	(76.2%) 47,170	(109.3%) 170,447	(75.8%) 22,651	(67.0%) 20,557	(64.9%) 7,282	(142.4%) 45,670

※　括弧内は前年同月比

【カラマツ】

（単位：㎥）

	原木消費量	原木在荷量	製材生産量	製材出荷量	うち移出	製材在荷量
渡島・檜山	(83.2%) 346	(96.5%) 4,952	(86.8%) 164	(80.2%) 150	(69.4%) 93	(91.1%) 82
胆振・日高	(74.3%) 4,676	(106.0%) 31,173	(76.3%) 2,075	(80.2%) 2,210	(79.8%) 1,321	(90.7%) 822
後志・石狩・空知	(76.3%) 1,460	(56.7%) 3,320	(78.7%) 672	(78.1%) 647	(60.5%) 245	(55.0%) 347
上川・留萌・宗谷	(58.3%) 6,372	(121.4%) 30,279	(70.5%) 3,748	(67.3%) 3,688	(57.3%) 2,679	(326.2%) 1,282
オホーツク	(48.8%) 10,560	(107.6%) 65,769	(48.4%) 4,986	(58.6%) 5,969	(53.2%) 4,645	(85.9%) 2,528
根室・釧路	(69.8%) 3,324	(136.9%) 31,496	(71.8%) 1,560	(69.7%) 1,510	(72.8%) 1,142	(183.3%) 1,032
十勝	(63.7%) 19,733	(129.2%) 71,573	(60.1%) 8,748	(63.7%) 9,174	(66.7%) 7,437	(97.9%) 5,002
合計	(60.4%) 46,471	(116.5%) 238,562	(60.8%) 21,953	(64.8%) 23,348	(62.0%) 17,562	(104.3%) 11,095

※　括弧内は前年同月比

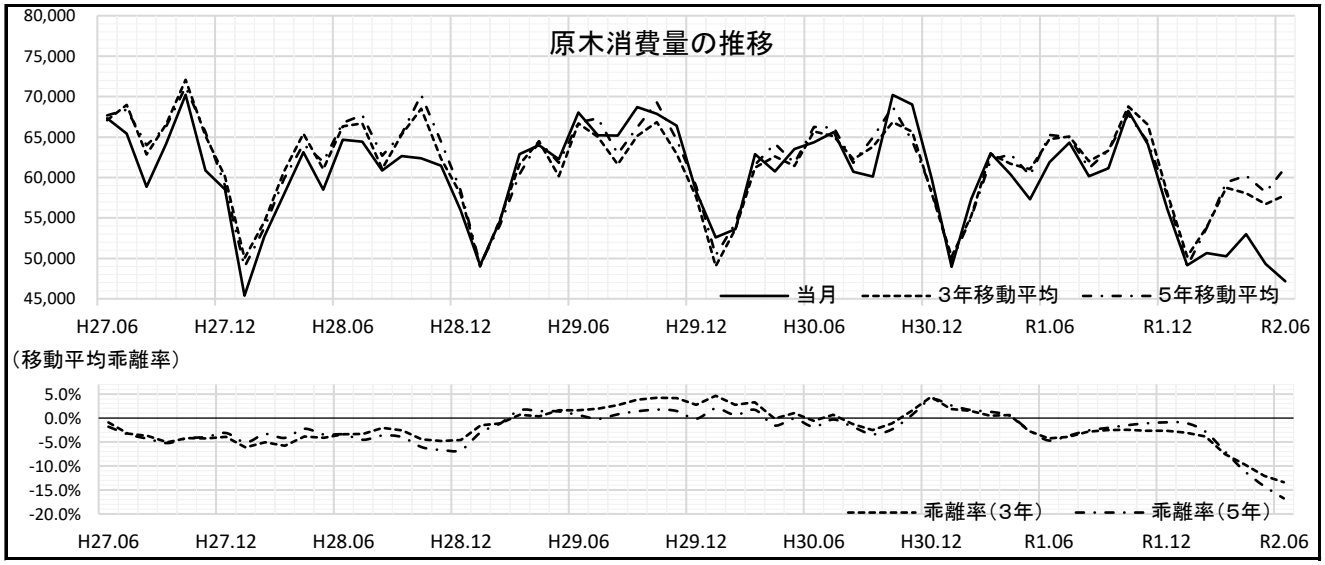
【広葉樹】

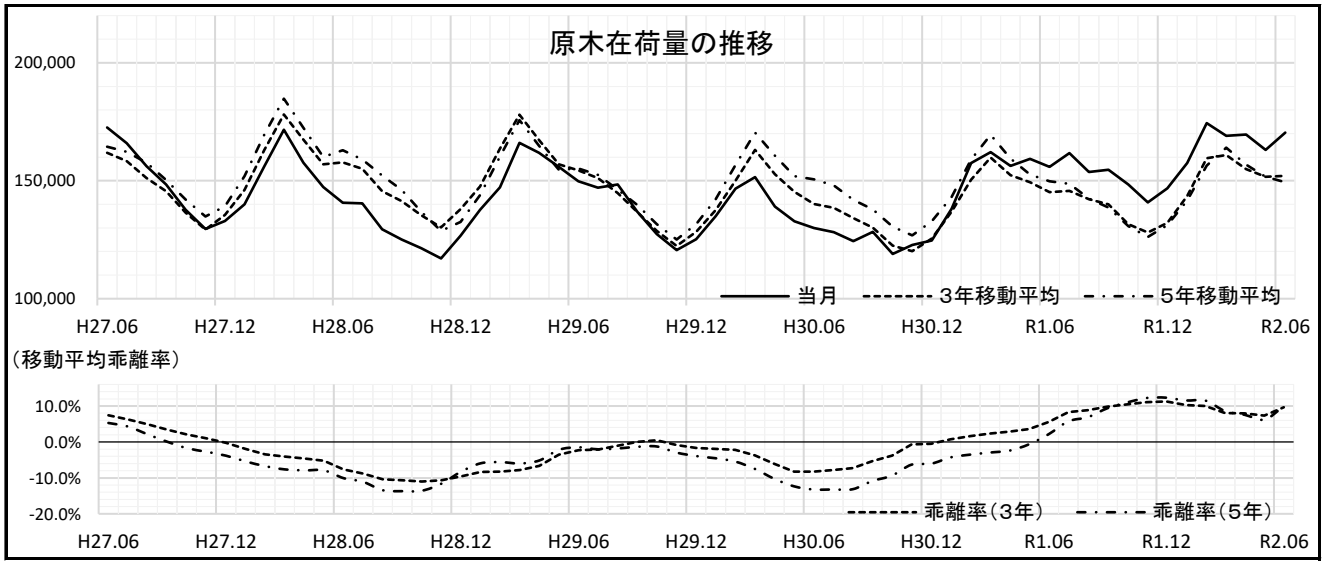
（単位：㎥）

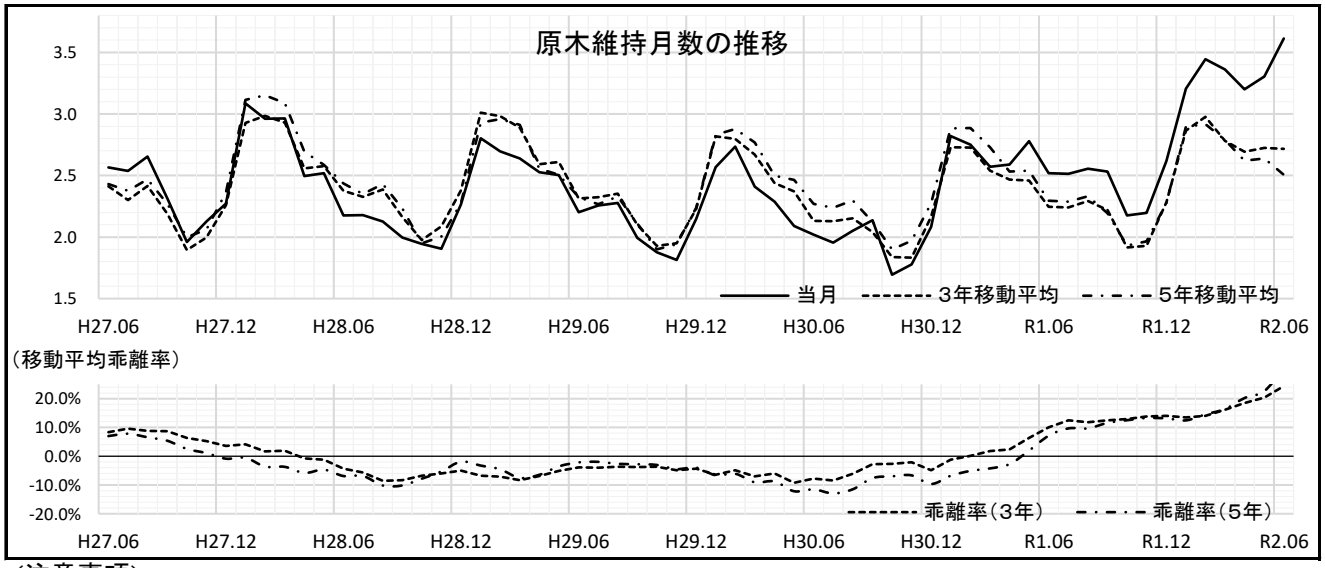
	原木消費量	原木在荷量	製材生産量	製材出荷量	うち移出	製材在荷量
渡島・檜山	(109.5%) 333	(138.7%) 1,708	(118.1%) 150	(118.1%) 150	0	(43.5%) 10
後志・胆振・日高・石狩・空知	(135.1%) 585	(108.1%) 1,342	(139.4%) 262	(128.0%) 238	0	(93.1%) 632
上川・留萌・宗谷	(87.4%) 3,359	(106.4%) 15,368	(83.2%) 1,573	(84.7%) 1,456	(19.3%) 50	(86.3%) 9,510
オホーツク・根室・釧路・十勝	(91.6%) 1,022	(85.5%) 6,027	(109.8%) 461	(59.8%) 223	(87.3%) 131	(116.9%) 1,105
合計	(93.0%) 5,299	(102.0%) 24,445	(93.2%) 2,446	(86.0%) 2,067	(41.0%) 181	(88.8%) 11,257

※　括弧内は前年同月比

製材工場の動向（エゾマツ・トドマツ）【平成27年6月～令和2年6月】



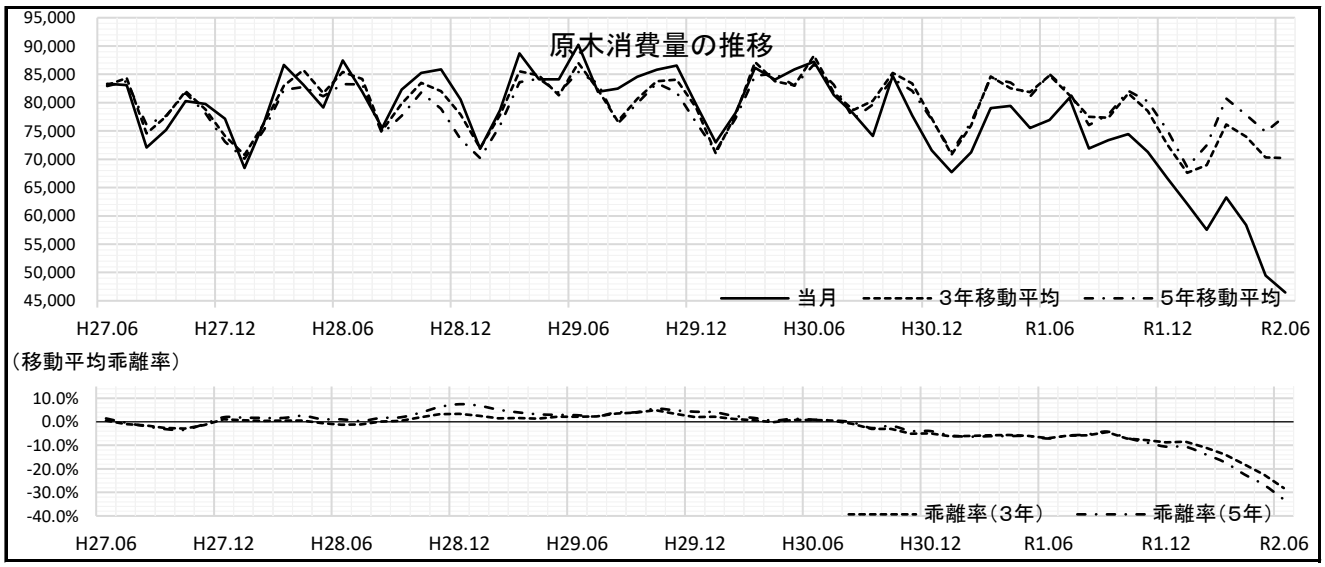


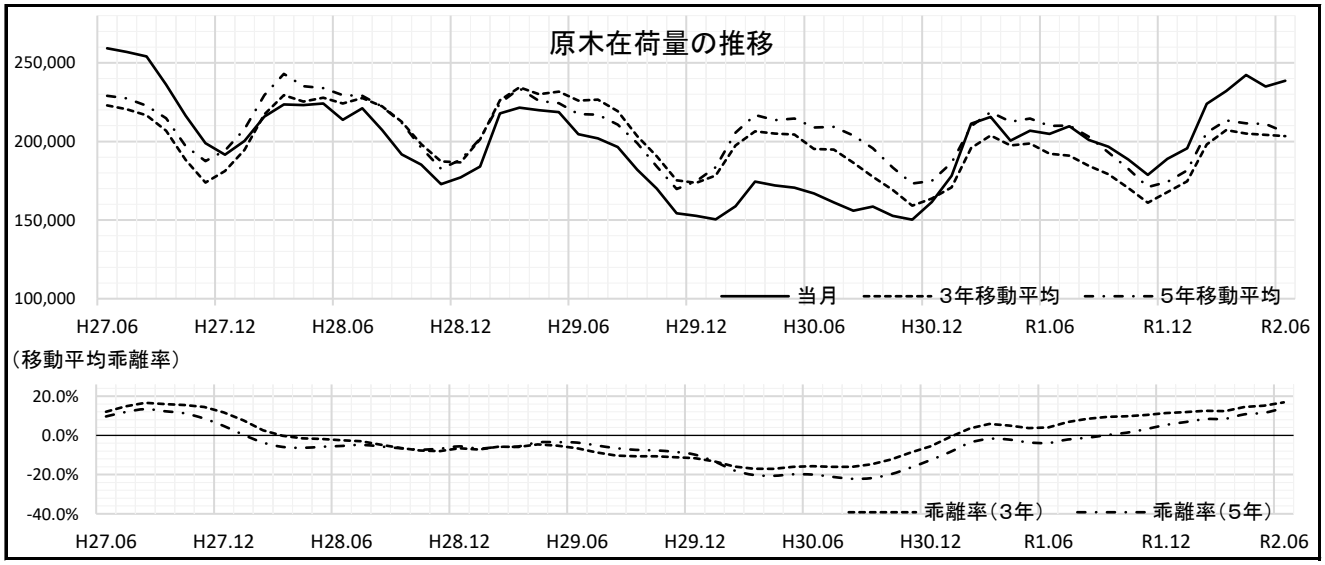


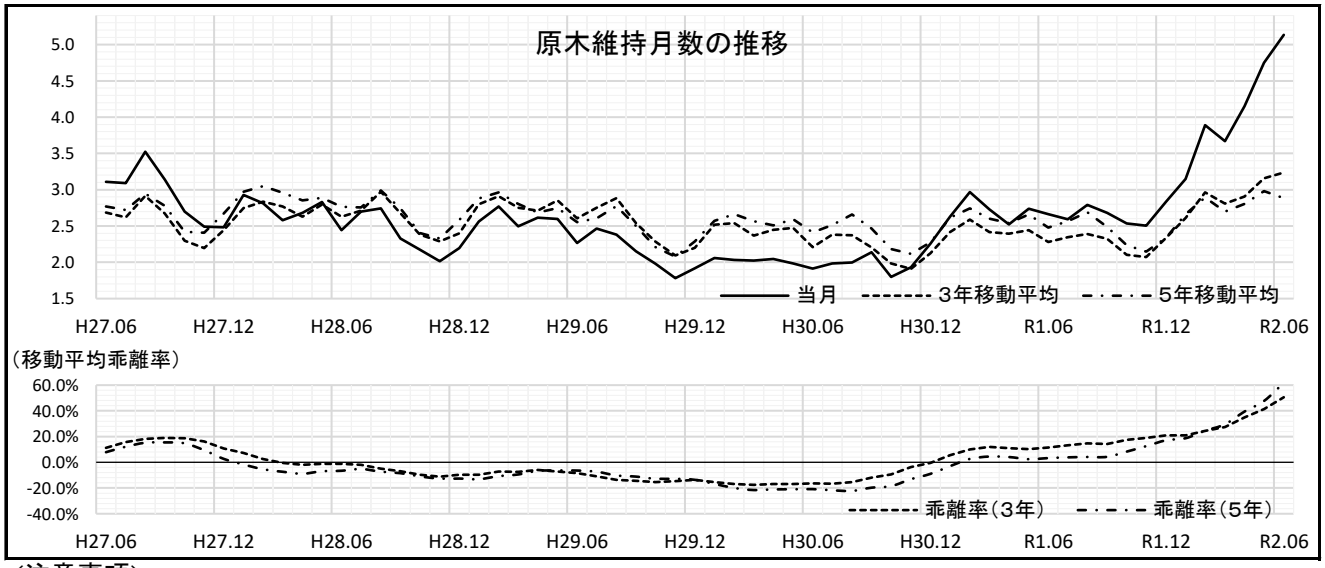
<注意事項>

・「3年移動平均」は当月値を含む過去3カ年の同じ月の平均値を表す。
・「5年移動平均」は当月値を含む過去5カ年の同じ月の平均値を表す。
・「乖離率（3年）」は3年移動平均に対する当月値の乖離率を表す（（「当月」÷「3年移動平均」－1）×100）。
・「乖離率（5年）」は5年移動平均に対する当月値の乖離率を表す（（「当月」÷「5年移動平均」－1）×100）。
・令和2年3月から令和2年6月までの値は速報値。

製材工場の動向（カラマツ）【平成27年6月～令和2年6月】







<注意事項>

・「3年移動平均」は当月値を含む過去3カ年の同じ月の平均値を表す。
・「5年移動平均」は当月値を含む過去5カ年の同じ月の平均値を表す。
・「乖離率（3年）」は3年移動平均に対する当月値の乖離率を表す（（「当月」÷「3年移動平均」－1）×100）。
・「乖離率（5年）」は5年移動平均に対する当月値の乖離率を表す（（「当月」÷「5年移動平均」－1）×100）。
・令和2年3月から令和2年6月までの値は速報値。